|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 開催日時 | | **議事録** | | | 開催場所 | |
| 平成25年01月28日（火） | | 社内SNS | | | 2号館504号室 | |
| 11:10～12:40 | |
| 議事録作者 | 飯田　伶 | 作　成　日 | 平成26年01月29日（水） | | | |
| 司　　会 | 村上 | 書　　記 | 飯田　伶 | 時　計　係 | | 村上 |
| 出　席　者 | 及川先生、石井先生、３Ｇ１ | | | | | |
| 発　表　者 | 飯田 伶(発表者）、青木　貴宣、鈴木　翔太、小沢　浩平、  折原　祐樹（オペレーター） | | | | | |
| 発表内容 | | | | | | |
| 卒業研究結果報告をしました。1.開発の経緯→2.主要機能の説明→3.弊社SNSのメリ | | | | | | |
| ット→4.良いシステムとは→所感の順番に発表し、1.開発の経緯では業務分析をした | | | | | | |
| 結果、私達が取り組んだ、対策についての説明をしました。 | | | | | | |
| 2.主要機能の説明では、ログイン機能、新規登録機能、マイページ機能、メッセージ | | | | | | |
| 機能、メッセージ内容表示機能、メッセージ作成機能、チャットグループ選択機能、 | | | | | | |
| チャット機能の順番に説明しました。 | | | | | | |
| 3.弊社SNSのメリットでは、利用することでのメリットを説明し、従来のメールの機 | | | | | | |
| 能よりも、高速なやりとりが可能という説明をしました。 | | | | | | |
| 4.良いシステムとは、では、私の考える良いシステムについて説明しました。機能が | | | | | | |
| よくても、使い勝手が良くなければ、使うユーザがいなくなり、使われないシステムの | | | | | | |
| 存在意義について説明しました。 | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |
|  | | | | | | |

|  |
| --- |
| 質疑応答の内容 |
| Q.Good!を押した後のGoodの保存機能はないのか？ |
| A.構想段階ではありましたが、現在では、機能の実装に至っておりません。 |
| Q.タイムラインに投稿した内容が、ユーザが増えることによって、必要な内容が、埋も |
| れたりして見難くなってしまうのではないだろうか、その対策は無いのだろうか？ |
| A.現在では実装ができていませんが、部署の部分を押すことで、ソートできるようにし |
| たいと考えております。 |
| Q.タイムラインに投稿した内容の削除はできないのだろうか？ |
| A.現在ではできませんが、実装できるようにしたいと思います。 |
|  |
| 講　　　評 |
| ・必ず必要となる削除ボタンとかが、実装されていなくて、もう少し頑張ってもらい |
| たかった。しかし全ての機能を実装しようとすると、さすがに多いので、全体的に |
| みれば、よく実装できていると思う。 |
| ・声が大きく落ち着いていた。 |
| ・デモンストレーションのところで少し、もたついてしまったので、その点はしっかり |
| と連携を取れるようにしておくべきだった。 |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| 所　　　感 |
| 練習していないの祟って、オペレータとの連携がとれていませんでしたが、落ち着い |
| て、対処することができました。さすがに、決勝のプレゼンテーションでは、練習をし、 |
| 連携不足を補えるようにやっていきたいと思います。　飯田 |
|  |
| 第4回目のプレゼンということもあって、落ち着いてできたと思います。 |
| まだ終わりではないので、最終プレゼンに向けて指摘された部分を修正し、向上させ、 |
| 連携していきたいと思います。　青木 |
| プログラムを作ることばかり考えしまい、同じ部分で作業するメンバーとの連携が |
| 疎かになってしまい、動作不備を出してしまっていたのが心残りではありました。最終 |
| プレゼンに出るということで頑張りたいと思います。　小沢 |
| 練習をしていなくプレゼンターとの連携ができていなくデモンストレーションでは |
| 焦ってしまいタイプミスをしてしまい余計に焦りしました。 |
| 決勝のプレゼンテーションでは練習をしてデモンストレーションのところでもたつか |
| ないようにしていきたいです。　　　　　　折原 |
| プレゼンはとても落ち着いていてかっこよく発表出来ていたと思います。今回、私は |
| 資料のホチキス止めしかしていませんが、今後のプレゼンの参考にさせてもらいます。 |
| 明日ある本番では連携をスムーズにして頑張ってほしいです。　鈴木 |
|  |
|  |
| 次回に向けて |
| 次回は最終プレゼンですので、今回の私達の課題であった、オペレータとの連携不足 |
| という点をどうにか改善したいと思います。そして、自分自身の満足のいくプレゼンテ |
| ーションを目指したいと思います。 |
|  |
|  |
|  |
|  |